

## 臨床研究

### 「外来化学療法実施中の緊急入院リスク同定の為の前向き観察研究」 について

筑波大学附属病院では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的

近年の癌/悪性腫瘍の治療パラダイムシフトにより、劇的な生存率向上が達成されていますが、依然として治療中に予期せぬ緊急入院となり、最悪の場合死亡に至ってしまうケースは散見されています。本研究では外来化学療法を実施している成人固形腫瘍患者さんの緊急入院頻度や入院後の死亡頻度を明らかにし、どういった特徴を持つ患者さんが緊急入院/死亡に至ってしまうかを検討致します。具体的には、患者さんの御年齢、性別、身長、体重、合併症、既往症、社会生活歴（喫煙歴、飲酒歴、職歴、当院までの通院距離、同居人数）、治療歴（悪性腫瘍治療レジメン、治療コース回数）、内服歴、癌/悪性腫瘍の病理組織分類、原発部位、化学療法実施当日の Performance Status (全身状態の指標)と血液データ、緊急入院の直接原因となった傷病名との相関について検討を行う事を目的としております。本研究により化学療法中の想定外の入院や死亡を少なくするためのヒントが得られると想定しております。

#### ② 研究対象者

倫理委員会承認後～2021年5月31日の間に筑波大学附属病院の外来通院治療室で化学療法を実施された、成人固形腫瘍の患者を対象とします。

#### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年5月31日まで

#### ④ 研究の方法

対象者の下記⑤の項目を調査し、緊急入院および入院後死亡と特に相関の強い項目について探索を行います。これらの情報は誰のものかわからないように番号で管理します。

#### ⑤ 情報の項目

緊急入院頻度、入院後死亡頻度、患者さんの御年齢、性別、身長、体重、合併症、既往症、社会生活歴（喫煙歴、飲酒歴、職歴、当院までの通院距離、同居人数）、治療歴（悪性腫瘍治療レジメン、治療コース回数）、内服歴、癌/悪性腫瘍の病理組織分類、原発部位、化学療法実施当日の Performance Status (全身状態の指標)と血液データ、緊急入院の直接原因となった傷病名

#### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当しません。

#### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 腫瘍内科 鈴木敏夫

⑦ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 腫瘍内科 鈴木敏夫

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：腫瘍内科 鈴木敏夫

電話：029-853-3525（平日 10～17 時）